

議員研修視察報告書（和歌山市）

1. 研修日 令和4年8月22日（月）13:30～15:00

2. 研修先 和歌山市役所 危機管理局 危機管理部 総合防災課

3. 研修参加者

役職	氏名
議長	千福 清英
副議長	井上 浩一
議員	服部 幸令
議員	徳丸 初美
議員	平田 常信
議員	田村 陽
議員	藤浦 稔（欠席）
理事	赤阪 秀樹
危機管理課長	菊井 秀行
議会事務局長	柏原 美佳
議会事務局主査	石橋 成元

4. 和歌山市対応者

役職	氏名
和歌山市議会議長	戸田 正人
危機管理局長	亀井 利昭
危機管理部長	南方 伸哉
総合防災課長	瓜生田 有三
総合防災課主査	成輪 啓史

5. 研修目的 ・和歌山市の緊急時情報伝達システムについて

6. 当日の質疑応答

Q：LINEとの連携はしているのか。

A：連携はしていない。

Q：フェイスブックと連携していない理由は。

A：ツイッターの公式アカウントの登録している人に情報が流れるようにしている。

Q：自動音声のチューニングはどうなっているのか。

A：音声ソフトは、色々な種類があると思われるが、現在使用しているもの以外の知識がない。

Q：個別受信機は、各家庭に配置しているのか。

A：個別には配置していないが、地区の防災会長とか避難所などに配置している。

Q：障害者に対する対応はどうしているのか。

A：障害者をサポートする人に情報発信して対応している。

Q：テレビ和歌山と連携しているが、他市もそのようになっているのか。

A：和歌山県では、御坊市と海南市が自動連携していると聞いている。

Q：このシステムの利用率は。

A：情報登録メールの登録件数は、15,823人（8月1日現在）

Q：利用されている世代は。

A：アドレス以外の情報は必要としないため把握していない。

Q：村の防災無線は、NEC製を採用しているが、「SpeeCANRAID EN」とJアラートを連携する場合、NEC側の撤去費用が高額と聞いているがどの位であるか。

A：資料の4ページに記載しているが、導入費用が約180万円、連携のための既設機器改造費が約900万円であるが、業者により金額は、様々であると聞いている。

和歌山市議長歓迎挨拶



千福議長挨拶



研修風景



研修風景



井上副議長挨拶



